星空案内人資格認定制度ニュースレター No.60

発行：特定非営利活動法人星のソムリエ機構

発行日：2024年6月30日

目次

2024年5月1日～6月26日の間に誕生した星空案内人	1
商標「星のソムリエ」ガイドラインの一部改正(再掲)	1
6月の機構の活動	2
6月定例理事会の開催	2
第13回星のソムリエ何でも情報交換会	2
星空案内人資格認定制度説明会を開催しました	4
ニュースレターへお便り	4
お願い(原稿募集)	4

2024年5月1日～6月26日の間に誕生した星空案内人

この期間に、以下の実施団体で星空案内人および準案内人の資格認定が行われました。

(カッコ内は通算の合計数です)

秋田大学天文台運営部会	星空案内人：0 (9)	、	準案内人：7 (130)
星取県 (鳥取県)	星空案内人：3 (4)	、	準案内人：0 (25)
SORA 宇宙講座	星空案内人：25 (195)	、	準案内人：33 (265)
福井県自然保護センター	星空案内人：3 (17)	、	準案内人：0 (56)

商標「星のソムリエ」ガイドラインの一部改正(再掲)

商標ガイドラインを一部改訂しました。

(1)申請はイベントごとに申請するのが原則でしたが、年間通してシリーズで行うような場合は一括申請できるようになりました。申請は一年単位です。これは、大きな企業などがさまざまなイベントを一括して申請する従来のもの(年額10万円)よりも小規模な団体を対

象としています。

(2)営利性のある場合の費用は 月額区分あたり 1000 円で統一しました。従来のインターネット掲載料 500 円は廃止しましたので、以前より 50%の値下げとなります。

6 月の機構の活動

6 月定例理事会の開催

開催日時：2024 年 06 月 11 日 21:00-22:00

開催場所：法人事務所及びオンライン会場

出席：理事会メンバ 10 名中、出席 8 名、欠席：2 名

- 法人年度が 6 月 30 日で終了するので年間の活動報告の取りまとめをおこないました。
- 新しく「サポート会員」という会員枠を設けました。特定の法人事業にのみ特化して参加する賛助会員です。
- 定例総会の日時を 8 月 13 日 21:30—22:00 とし、会場を法人事務所およびバーチャルオフィス(オンライン)としました。
- 2024 年度(2024 年 7 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日まで)の事業計画の作成をおこないました。

第 13 回星のソムリエ何でも情報交換会

日時：2024 年 6 月 4 日（火） 20:00-21:00

場所：zoom 会議

参加：14 名

5 月のテーマ：

曇り・雨の時の星空案内

講演：

「星が見えない時の星空案内 ~公開天文台を例に~」 米澤 樹（みさと天文台）

ショート・トーク：

小型望遠鏡で「実際に望遠鏡を操作する体験」 田端研二（那覇）

つなぎ話絵本 柴田晋平（NPO 法人星のソムリエ機構）

参加者の活動について情報交換し、上記の講演とショートトークを行いました。曇りメニューについての話で盛り上がりました。米澤さんから発表スライドを提供していただきましたので参加者に配布しました。

(柴田)

参加者からのお便り

★ こんなテーマの曇りメニューがあります：

- ・アルミホイルで作るプラネタリウム
- ・紙テープで作る星
- ・光る星座早見盤（ギガスター）を望遠鏡で見る
- ・星座カードづくり

(林 厚志)

★ みさと天文台の米澤さんには、データを用いてわかりやすく解説していただき、雨の場合の対応の現状を知ることができました。

星が見えない時も「望遠鏡を覗く体験」をすることは有効だと思いますが、参加人数と望遠鏡の台数によっては、ひとりひとり覗く時間を考えると実施をためらってしまうことがあります。米澤さんの望遠鏡を覗くまでの待ち時間の工夫や、那覇の田端さんは「(学校団体の場合) 子ども達が待ち時間も楽しそうに過ごしていたらそれでいい(解説をすると、かえって邪魔になる)」と言われていて、シーンに合わせた対応を学ばせていただきました。ありがとうございました。

(光澤 安衣子)

★ 今回初めて情報交換会に参加しましたが、とても有益な情報を提供いただき嬉しかったです。私自身は仲間と一緒に星空観望会などを実施していますが、経験不足な点もあり、天候が悪い際でも参加者を満足してもらうにはどの様にすればよいのかを試行錯誤している状況です。今回星が見えない時に他の皆様がどの様な対応や工夫されている話などを聞いて目から鱗でした。また次回の会にも参加させていただきます。

(伊藤孝洋)

★ 田端さんのショートトークのまとめ

望遠鏡操作体験について

小学校のPTAから依頼された観望会（小学校4年生の親子対象）で、曇りメニューとして望遠鏡操作体験をおこなっている。使用望遠鏡はスコップテック社のラプトル60を使っている。これは素通しのファインダーとフリーストップの架台で、小学生でも直観的に扱える。なお倍率はいちばん低い35倍を使用。市内の小学校は平均1学年3クラスなので、1クラスあたり2台、合計6台を自前で準備した。最初にパワポで操作方法を説明して、その後会場（だいたい体育館内）の端に置いた月や惑星の写ったモニターを目標に望遠鏡を自分で操作してもらう。各望遠鏡には大人（星空準案内人）が付いて、操作の手助けをする。ただし準案内人が足りない時は、親御さんか先生に手伝いをお願いすることもたまにある。

自分で望遠鏡を操作することは非日常の体験になるようで、とても好評である。天気が回復

すれば、そのまま外に出て月を観察してもらうこともある。

(田端研二)

星空案内人資格認定制度説明会を開催しました

日時：6月13日(木) 16:00-17:00

参加：9名(7団体)、機構から3名

星空案内人制度 Tips (page 68-74)ⁱ に沿って説明しました。新しく星空案内人資格認定制度を導入したいと考えている方、制度の実施団体ですでに星空案内人養成に携わっているがもう一度勉強したい方のために開催しています。

特に、本制度は実施団体のミッションのために使うものであるということをお伝えしました。参加者からこの意図に感銘を受けたとの感想をいただいたのは機構としては大変嬉し苦思っております。

ニュースレターへお便り

今月は投稿がありませんでした。投稿をお待ちしています。

お願い(原稿募集)

この News Letter は、制度の実施団体向けのメーリングリストおよび星のソムリエに関心のある方が参加している members メーリングリストに配信しております。

話題のコーナーへの皆様からの投稿をお願いします。近況報告や星空案内ネタ、短い随筆、俳句、短歌、写真などなんでも結構です。毎月月末発行ですので、その1週間前くらいまでにいただければ嬉しいです。 (編集担当；柴田)

ⁱ 「星空案内人制度 Tips」は星空案内人各認定制度のホームページ

https://sites.google.com/site/hoshizoraannaishikakunintei/for_organizations に掲載されています。